

「デザインデータブック」'06 改訂版の概要

- 新しい鋼橋のデータを充実し、全面改訂 -

2001年3月に当協会が発行しました『'01 デザインデータブック』は、2回の部分改訂を行いました。発行以来はや5年が過ぎました。今回、全面的な見直しを行い、2006年4月1日に『'06 デザインデータブック』として、改訂新版を発行いたしました。



(表紙写真)

(頁数：本文全 296 頁)

1. 改訂の背景、経緯

最近の鋼橋の特徴として、高機能床版の使用に伴い少数主桁構造が普及してきたこと、橋梁の使用期間の長期化を踏まえ、疲労耐久性、長期防食等が要求されていることがあげられます。また、支承、付属物にも新形式の採用、従来構造の改良がなされてきました。これらの要求を満足する設計データを提供するため、皆様からのご意見、ご要望を取り入れ、今回改訂新版を発行しました。なお、設計の基礎データ、メンテナンスに必要なデータについては、極力 '01 版の内容を残す配慮もしました。

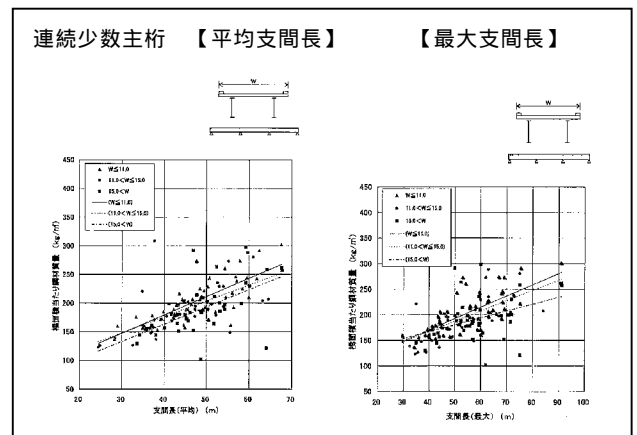
2. 主な改訂内容

主な改訂点は、次の通りです。

合理化橋梁のデータを拡充しました。支間長毎の橋梁計画諸表にこの形式データを拡充、桁配置に関する留意点等の掲載をしました。

橋梁形式と支間長の**図表等に最近の実績を反映**させました。構造種別と適用支間長のグラフにおいては、合理化橋梁の追加、適用支間の見直しを行っています。また単位橋面積当たりの質量等に用いる面積には、有効幅員面積から総幅員面積を用いる様、変更しました。鋼コンクリート合成床版、支承、付属物については、**最近使用している構造を反映**させました。合成床版については、現時点での新形式を追加しました。支承については、支承便覧改訂版の反映、機能分離型支承の追加、太径アンカーボルトの構造の解説等追加しました。また、検査路については、最近の標準設計を取り入れています。

疲労設計については「**鋼道路橋の疲労設計指針**」の内容を取り入れました。疲労強度等級表の他、鋼床版においては疲労対策を考慮した構造詳細を掲載しました。防食については、「**鋼道路橋塗装・防食便覧**」の内容を取り入れました。特に、長期防食として、金属溶射を追加、重防食塗装の内容を見直しました。めっき構造の留意点についても見直しています。



内容抜粋：(鋼橋計画諸表；少数主桁支間長 - 鋼材質量の関係)

3. その他の改訂内容

掲載データの見直し；

具体的には、適用基準類の更新、道路構造令の改定に伴う建築限界の見直し、伸縮装置の鋼材質量グラフに片持式構造のデータを追加、巻立てコンクリートの構造例を追加、高力ボルト締付機具の見直し、高力ボルト引張接合を充実、グループ溶接の開先形状の見直し、車両制限令の改定に伴う輸送荷姿の見直し、新鋼材の追加、ラメラティア感受性の算出式の追加、コンパクト形ジャッキの追加、塗分け区分表示の充実、異種間金属接触腐食の追加、無塗装橋梁の内容見直し等です。

当協会ホームページとのコラボレーション；

RC床版の支持桁の不等沈下による床版の曲げモーメントの数表、及びワイヤロープ、ケーブルの断面等緒元については、ホームページに移し、これを参照していただくこととし、本冊子のスリム化を図りました。

軽量化；紙の厚さを従来版より薄くし、軽量化を図りました。全体的な厚さは、ほとんど変わりませんが、内容については20ページ程増加しています。

付録；インデックスシールを付けました。